

## 令和5年度 学校評価 自己評価書(2学期)

### 1 学校の重点目標

- 1 学校保健・学校安全の取組を継続・充実し、校外での安全(交通事故等防止, 防犯, 防災)の取組も強化する。(病院受診のけが減少)
- 2 学校・学級への適応が難しい子供に対してチームとして対応し改善を図る。(特別支援教育や家庭での生活習慣の定着の視点から)
- 3 立腰指導や継続的な体力づくりを通して体幹や柔軟性等を高める。
- 4 相手・時・場に応じた「語先後礼」での挨拶や自分・相手を大切にする言動(アサーション)ができるようにし、自他の成長を実感させる。(キャリア・パスポートの活用)
- 5 ICT機器や図書館の本等を有効に活用した主体的な学びや「学校の新しい生活様式」を踏まえた対話・交流活動を通して、将来に生きてはたらく学力(思考力・表現力, 学びに向かう力等)を高める。

### 2 課題と改善策

	評価の観点	評価	改善策等
かしこく	1 基本的な学習のしつけの定着(学期始めの重点指導)	3.4	
	2 子供が見通しをもって学習し、自分の学びを振り返る授業づくり	3.4	
	3 ICT機器を活用し、自分の学びを表現し、対話や交流で考えを深めることができる授業づくり	3.5	
	4 基礎・基本的事項の確実な定着(テスト直し, NRT分析・Webシステム問題等での習熟)	3.4	
	5 発達段階に応じた家庭学習についての具体的指導	3.4	
うつくしく	1 学級でのよさの認め合い、校内表彰、外部作品展への挑戦・称賛、キャリアパスポートの活用による自己肯定感の高揚	3.3	
	2 いじめ・不登校の早期発見とチーム対応(定期的なアンケート実施と心の教育推進委での共有)	3.4	
	3 人権同和教育の計画的推進と「考え議論する」道徳科授業の推進	3.1	
	4 JRC精神に基づいたボランティア活動の推進	3.2	
	5 量と質を大切にしたい心を豊かにする読書指導の充実	3.2	
たくましく	1 学校の新しい生活様式による感染症予防とむし歯治療率の向上	3.3	・換気やうがい・手洗いをして感染予防に努めていたが、インフルエンザが広まった。マスクの着用が自由となった面、感染を防げない部分があった。
	2 セーフコミュニティモデル校としての取組の継続(子供の主体的活動の重視)と校外の事故防止への指導の充実	3.1	
	3 家庭との連携による基本的な生活リズムの定着とメディアとの付き合い方の指導の強化	3.3	
	4 教科体育における準備・整理運動の工夫と体力を高める指導	3.2	
	5 「もくもく・すみずみ・びかびか」清掃活動の指導・見届けと緑化活動の充実	3.1	
開かれた学校	保護者へ学年・学級経営に係る具体的な取組内容及び評価の説明に努めた(学級PTAの工夫・充実)	3.4	
	学校だより, 学年通信, 学級通信, ホームページ・ブログ等による情報提供に努めた	3.4	
	地域行事, あいご会行事へ積極的に参加・協力した	2.7	
	地域人材や郷土に関する教材・資料の積極的活用に努めた	3.0	
校務・服務	校内研修に積極的に参画し、その成果を日常的に生かすことができた	3.5	・学期末は、C校時(B校時)を増やし、学級事務の時間を増やしてほしいです。
	学年や教科・領域部で情報共有し、チームとして分担しながら校務を進めた	3.5	
	1Tryを意識し、自ら働き方改革に取り組んだ	3.4	
	服務規律の厳正確保に努め、事故や不祥事を起こさないような行動を心がけることができた。	3.8	

### 3 次学期に向けての取組

- 感染症対策について学校全体でもう一度確認し、対策の強化を図る。(家庭への協力依頼)
- 学期末事務の時間確保のために、放課後の会議等の見直しやB校時・C校時の有効な設定に努める。
- 地域行事, あいご会行事への協体制度を強化し、児童へ参加を勧める。